



ほけんだより



1月最新の感染症情報



咽頭結膜熱（プール熱）（アデノと診断されたものも含む） 罹患 1人

※市内では、胃腸炎の発症も増えているようですので、嘔吐や下痢にも
注意しましょう

※「感染症情報」は、最新の情報をアプリ・玄関掲示で更新していきますので、ご確認を
お願いいたします。

冬のかぜによくある特徴

咳・鼻水・のどの炎症・発熱→呼吸系に来るかぜ
下痢・嘔吐→消化器系に来るかぜ
両方の症状→インフルエンザの疑い

風邪予防



油断できない風邪



風邪は年齢が低いほど、中耳炎、気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管が弱い
お子さんの場合は喉がゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。

鼻水が長引くのは 病気のサイン!?

鼻は呼吸や病気の予防に
役割を果たす大切な気管。
気になる症状があったら、
耳鼻科を受診しましょう!



かぜをひいていないのに、
しょっちゅう鼻が詰まった
り、鼻水が出たりしている



→アレルギー性鼻炎や副鼻
腔炎などの疑い

鼻詰まりがあり、
しきりに耳を触る



→急性中耳炎の疑い

いつも目やにや
鼻水が出ている



→鼻涙管閉そくや結膜炎の
疑い

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。
ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、お
う吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱
はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分
が失われ、脱水症状になると危険です。何よりも
まず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア



子ども用イオン飲料や湯
冷ましを少しずつ、こま
めに与える

おしりはこすらずにお湯
で洗い、タオルで軽く押
さえて水分をふき取る